

子どもを連れて図書館へ

お子さんと一緒に、図書館に来ませんか？楽しいお話会をしています。申し込みは不要です。

◎かにっ子タイム

《場所》本館3階、帷子分館・桜ヶ丘分館絵本コーナー 《日時》毎週土曜日 午後2時から

◎ちびっこかにっ子タイム（乳幼児向けのお話会）

《場所》	《日》	《時間》
本館 2階親子閲覧室	第2・4木曜日	午前11時から
帷子分館 絵本コーナー	第2・4木曜日	午前10時30分から
桜ヶ丘児童センター（公民館隣）	第1・3・5水曜日	午前11時から

本館では「赤ちゃんタイム」を実施しています

保護者の方が本を借りる時やお手洗いの時など、手助けが必要な時は、ボランティアが赤ちゃんをお預かりしてお手伝いします。気軽にお越しください。

《日時》第2・4木曜日 午前10時30分から正午まで

《場所》図書館本館2階親子閲覧室



可児工業高校の生徒さんが作ってくださった紙芝居舞台です。ちびっこかにっ子タイムのボランティアさんが紙芝居をしています。

職員のおすすめ《この書き手に注目！》

つばた 英子

（つばた ひでこ 1928年愛知県生まれ）
 愛知県半田市の造り酒屋に生まれ、建築家の修一氏と結婚。修一氏は高蔵寺ニュータウン計画・設計に携わり、その後高蔵寺に建てた丸太小屋で、夫婦で野菜や果樹を育て自然と密着した生活を送る。『高蔵寺ニュータウン夫婦物語』（ミネルヴァ書房）にはじまり、『あしたも、こはるびより』、『ひでこさんのたからもの』（共に主婦と生活社）など夫婦共著多数。そのライフスタイルは映画「人生フルーツ」でも紹介された。

いちばん新しい著書『ふたりからひとり』（自然食通信社）を紹介します。一昨年修一氏が亡くなったことを、このタイトルが表しています。著者の今までの人生や、ひとりでも引き続き豊かなキッチンガーデンを維持し「ていねいなくらし」を続ける日常・ぶれない考え方が綴られています。特に食べ物には気を遣い、購入する店を限定し、つくり手の顔が見えるもの・本物を食べるというように徹底しています。夫唱婦随そのものだった今までの生活から、本当の「マイ」ペースでの暮らしぶりを（ご高齢ではありますが）、これからも発信してほしい著者です。（本館 可児）

須賀 しのぶ

（すが しのぶ 1972年埼玉県生まれ）
 1994年「惑星童話」でコバルト・ノベル大賞の読者大賞を受賞しデビュー。以降ライトノベルを中心に活躍する。2010年「神の棘」が各種ミステリーランキングで上位にランクインし、話題となる。2016年『革命前夜』（文芸春秋）で第18回大藪春彦賞を受賞。

第156回直木賞候補になった『また、桜の国で』（祥伝社）を紹介します。舞台は第二次世界大戦が勃発する直前のワルシャワ。主人公の棚倉慎（たなくらまこと）は亡命ロシア人の父を持つ、外務書記生で在ポーランド日本大使館に着任します。欧州ではナチスドイツが台頭し、やがてドイツはポーランドに侵攻し、戦争が始まります。慎には9歳の時に日本で出会ったポーランド人カミルとのある思い出があり、そのためにポーランドに対して強い思い入れがありました。成長したポーランド孤児達で作った極東青年会と協力し、奔走する慎。その中で出会ったアメリカ人記者レイという人物は実は…。ナチスに追いつめられる友人達のために慎が選んだ道とは？桜の国での静かなエピソードにいつそう胸をしめつけられます。

（本館 饒村）

分類	書名	著者名	出版者名
哲学・心理学			
114.2/シ/	「終活」を考える 「終活」をどのように捉えるか？ 自分らしい生と死についての論考を集めた一冊。おひとりさまの終活や終末期医療等の当事者・家族のこころなど、人生の終焉をとりまく問題について、様々な業種の人々が幅広い視点から考える。	浅見昇吾／編	Sophia University Press 上智大学出版
歴史・伝記			
210.4/タ/	戦国の合戦と武将の絵事典 歴史小説、歴史ドラマで感じる疑問を解消する絵事典。戦国大名の普段の生活から城の構造、合戦のしかた、秘密のプロフィールまで、豊富なイラストや図解でわかりやすく紹介する。年代別の全国版図変遷地図、戦国史年表も収録。	高橋伸幸／著	成美堂出版
281.0/メ/	明治をつくった人びと 近代国家建設を担った人びとの姿が鮮やかによみがえる。明治天皇に献上された「明治十二年明治天皇御下命人物写真帖」から、皇族・華族・政府官員・軍人ら重要人物 1000 人余を抜粋し、職・年齢、家格・爵位を掲載する。	刑部芳則／編	吉川弘文館
289.1/ス/	素描・杉原千畝 第二次世界大戦中に多くのユダヤ人を救った外交官・杉原千畝。岐阜県八百津町、中国のハルビン、リトアニアのカウナスなど、杉原と縁のある場所を訪ね、彼が未来に向けて展いた「いのち」の軌跡をつづる。写真も掲載。	小谷野裕子／著	春風社
社会			
319.1/ピ/	在日の涙 韓国人より日本を、日本人より韓国をよく知るからこそその苦悩と慟哭。悪化するばかりの両国関係は、新政権でどうなるのか？ 人気ジャーナリストが自身の半生を振り返りながら、韓国人の間違いを正し、日本人の誤解を解く。	辺真一／著	飛鳥新社
323.1/ワ/	私にとっての憲法 私たちは憲法をどれだけ使いこなし、その理念を自分たちのものにすることができたのか。自身の憲法体験から、憲法を活用するためのヒント、提言まで。さまざまなジャンルの 53 人による憲法論。巻末に日本国憲法全文を収録。	岩波書店編集部／編	岩波書店
366.2/ダ/	誰が日本の労働力を支えるのか？ 700 万人超の働き手を失う 2030 年の日本が選ぶのは外国人か？ 人工知能か？ 英オックスフォード大学と野村総合研究所の共同研究による衝撃の近未来シミュレーション。職業別代替可能確率一覧も収録。	寺田知太／著	東洋経済新報社
369.4/ガ/	外国人の子ども白書 外国人の子どもの現状と支援が理解できる一冊。「日本語が話せない」「学校に行けない」「差別やいじめを受ける」といった外国人の子どもが出会っている問題について、資料やデータを示しながら報告・分析・問題提起する。	荒牧重人／編	明石書店
自然科学・医学			
457/マ/	深読み!絵本『せいめいのれきし』 半世紀以上にわたって読み継がれてきた絵本「せいめいのれきし」の改訂版を監修した恐竜博士が、絵本の中には盛り込めなかった知識や、最新の研究成果などを解説する。	真鍋真／著	岩波書店
493.7/フ/	私の記憶が確かなうちに 46 歳で若年認知症と診断され、「私は誰になっていくの?」「私は私になっていく」を著した著者が、認知症に闘いを挑むこと、認知症とともに元気で明るく、幸せに生き抜くことを語る。よりよく生きるためのアドバイスも収録。	クリスティーン・プライデン／著	クリエイツかものがわ
技術・家政			
521.8/ム/	織豊系城郭とは何か 織豊系城郭研究の手引。「織豊権力の城郭政策」「織豊系城郭と地域社会」などテーマごとに分類した論考編と、東北から九州までの織豊系城郭を解説した個別城郭編で構成。	村田修三／監修	サンライズ出版

596/W/	わたしの好きなお酢・レモンの料理	ワタナベマキ／著	家の光協会
	塩分が抑えられる、コクとうま味が増す、肉をやわらかくする、くさみが取れる。サラダ、マリネから煮もの、スープまで、お酢、黒酢、ワインビネガーやレモン、ゆず、梅干しなどを使った料理のレシピを紹介します。		
597.5/S/	フセンと手帳で今度こそ、家が片づく	須藤ゆみ／著	朝日新聞出版
	今まで何をしても片づかなかった部屋が、フセンに書いて手帳に貼るだけで、びっくりするほどキレイに。だれでもできる「片づけフセン術」を、写真やイラスト満載で紹介。		
産業			
645.6/S/	日本犬の誕生	志村真幸／著	勉誠出版
	近代化、国民国家形成、動物保護、戦争…。博物学者・南方熊楠と「日本犬保存会」を設立した平岩米吉との対話を起点に、時代に翻弄され、淵源と純血を求められ続けた犬たちをめぐる言説を辿り、日本近代史の裏側を照らし出す。		
681.3/M/	高齢ドライバーの安全心理学	松浦常夫／著	東京大学出版会
	故を起こさないためには？ 運転のやめどき、いつ、どう判断する？ 高齢者の運転や事故の特徴から安全対策まで、交通心理学の第一人者が丁寧に解説。高齢ドライバーやその家族、交通関係者へのヒントが満載。		
芸術			
728.9/S/	字が汚い!	新保信長／著	文藝春秋
	分の字の汚さに愕然とした著者が、ペン字練習帳に挑戦し、作家の書き文字を検証。悪戦苦闘の日々が始まった。「汚い字」を徹底研究し、どうすれば字がうまくなるのかを考える。		
778.2/G/	好奇心のチカラ	ブライアン・グレイザー／著	KADOKAWA
	仕事も人間関係も人生も、興味を持って質問すれば、すべてがうまく回り出す！ハリウwoodsの敏腕プロデューサーが、これまでに会ったさまざまな人々との会話を交えながら、好奇心の価値と、その利用法を伝える。		
786.1/M/	自分を超え続ける	南谷真鈴／著	ダイヤモンド社
	「世の中は可能性にあふれている」「自分を信じていざなえば夢は実現する」19歳、日本人最年少で世界七大陸最高峰を制覇したいま注目の冒険家が、生い立ちやこれまでの登山、終わりのなき挑戦などを語る。		
791.2/M/	桃山・江戸時代初期の大大名の茶の湯	矢部誠一郎／編	宮帯出版社
	茶の湯外交、武家茶の湯の成立、地方への伝播…。利休、織部らに学んだ、安土桃山時代・江戸時代初期の大大名、毛利輝元、前田利家・利長、島津義弘、伊達政宗、佐竹義宣、蜂須賀家政の茶の湯文化への関わりを明らかにする。		
日本文学—作家論、小説			
910.2/M/	みみずくは黄昏に飛びたつ	川上未映子／訊く	新潮社
	「騎士団長殺し」誕生秘話、創作の極意、少年期の記憶、名声と日常、そして死後のこと…。村上春樹が、自身の最深部を鮮烈な言葉で語る。少女時代からの熱心な愛読者・川上未映子が、村上春樹のすべてを訊き尽くした記録。		
911.3/M/	子規の音	森まゆみ／著	新潮社
	病に伏した正岡子規は、目に映る景色で五感を鍛え、最期まで句や歌を作り続けた。子規を愛してやまない著者が、幕末の松山から東京まで足跡を丹念に辿り、日常生活の中での姿を描き出す傑作評伝。		
913.6/カツ/	諦めない女	桂望実／著	光文社
	小学1年の娘が忽然と姿を消し狂乱する母。そして数年が経ち、離婚した彼女は今日もひとり、わが子の帰りを待ちながら情報を集めてビラを撒く。失われた時間、果たせなかった親子の絆を求めて…。サスペンス長編。		
913.6/ゴ/	ライオン・ブルー	呉勝浩／著	KADOKAWA
	田舎町の交番に異動した澤登は、失踪した同期・長原の真相を探っていく。やがて町のゴミ屋敷が放火され、家主・毛利の遺体が見つかる。澤登は長原が失踪直前に毛利に会っていたことを掴むが…。交番警察ミステリ。		
913.6/シモ/	サイレント・マイノリティ	下村敦史／著	光文社
	内戦状態のシリアから日本へ逃れ、難民認定を切実に訴える父に対して娘は、父は嘘をついていると異なる証言をする。その背後でシリア人男性殺人事件が起き…。難民調査官・如月玲奈は驚愕の真実へと辿り着く!		

913.6/ツジ/	かがみの孤城	辻村深月／著	ポプラ社
	部屋に閉じこもっていたところの目の前で、鏡が光り始めた。輝く鏡をくぐり抜けた先の世界には、似た境遇の7人が。秘めた願いを叶えるため、7人は城で隠された鍵を探す。		
913.6/ニヤ/	ニャンニャンにゃんそろじー	有川浩／著	講談社
	NO CATS、NO LIFE! 有川浩、町田康、北道正幸ら、猫好きによる猫好きのための“猫小説×猫コミックス”アンソロジー。		
913.6/スカ/	宿命と真実の炎	貫井徳郎／著	幻冬舎
	事故か他殺か判然としない警察官の死が連続する。事件を追う高城理那は、スキャンダルで警察を去った西條の存在を気にしていた…。		
913.6/ハタ/	ひとめぼれ	島中恵／著	文藝春秋
	同心の養子となった吉五郎の様子がおかしいことを悟った、麻之助と町名主の清十郎。吉五郎には一葉という許嫁がいるのだが…。まんまことワールド第6弾。		
913.6/マタ/	劇場	又吉直樹／著	新潮社
	一番会いたい人に会いに行く。こんな当たり前のことが、なんでできへんかったんやろな。かけがえのない大切な誰かを想う、切なくも胸にせまる恋愛小説。『新潮』掲載を単行本化。		
913.6/ユズ/	BUTTER	柚木麻子／[著]	新潮社
	結婚詐欺の末、男性3人を殺害したとされる容疑者・梶井真奈子。30代の女性記者・里佳は梶井への取材を重ねるうち、欲望と快楽に忠実な彼女の言動に翻弄されるようになっていく…。		

日本文学—エッセイ

914.6/ツム/	まぬけなこよみ	津村記久子／著	平凡社
	七十二候を芥川賞作家が書いたらどうなった？ 骨正月、猫の恋、衣替え、蚯蚓鳴く…。四季の言葉から生まれた脱力系歳時記エッセイ。『ウェブ平凡』連載に加筆修正、書き下ろしを加えて単行本化。		
914.6/ホシ/	いのちの車窓から	星野源／著	KADOKAWA
	ドラマ「逃げ恥」「真田丸」、ヒット曲「恋」に「紅白」出演と、怒濤の日々を送るなかで紡いできた風景、心の機微。星野源の魅力、そのすべてがわかる、誠意あふれるエッセイ集。		

展 示 の ご 案 内

■ 6 / 7 (水) ~ 6 / 20 (火) ■

6月は環境月間

可児市の自然環境を知ろう！展（本館1階）

可児市は、自然豊かな緑にあふれたまちです。みなさんの身近なところにも、貴重な動植物が息しています。わたしたちのふるさと「可児市」を、もう一度見つめなおしてみませんか。見方を少し変えるだけで、いままでとは全く違った光景が見えてくるかもしれませんよ。



■ 6 / 21 (水) ~ 7 / 2 (日) ■

男女共同参画社会の実現のために

（男女共同参画推進週間）展（本館1階）

6月23日から29日は「男女共同参画週間」です。男性と女性が、職場で、学校で、地域で、家庭で、それぞれの個性と能力を発揮できる「男女共同参画社会」を実現するためには、一人ひとりの取組が必要です。私たちのまわりの男女のパートナーシップについて、この機会に考えてみませんか？

開館時間

【本館】平日 10:00~19:00、土日祝 10:00~17:00

【分館】全日 9:00~17:00

休館日

毎週月曜日、毎月最終金曜日

6月 5,12,19,23,26日

携帯用
サイト



「図書館だより」2017年6月号

発行：可児市立図書館 編集：長谷川（本館） 電話（0574）62-5120

資料検索・予約は <http://www.kani-lib.jp/> をどうぞご利用ください。